

第33号 船岡山

発行責任者 小千谷市第一地区民生・児童委員協議会
会長 関 新二

“月一定例会” 関 新二

皆さん、なんとなく月一の定例会が待ち遠しくなっているのではないですか…第一地区には、「いきいきサロン」を中心になって運営している人、20軒近くの「見守り相談装置」設置を進め協力員として見守っている人、配食サービスのお弁当を15～20人の利用者みなさんに自ら配達し密度の濃い見守り活動をしている人、「あちこたネットボランティア」に登録している人、「学校ボランティア」として活動している人、各種ボランティアの活動をしている人、研修・各種講座には必ず出席し自己研鑽に努めている人、幅広い知識を持っている人、その他いろいろな場面に遭遇し経験豊かな人もおります。



そんな人たちが集う定例会です。うまく関係機関につなげた事例、あるいはどうして良いか解らなかった事例などを“どんどん”発信していただき一緒に研究することで解決策が見つかり課題が見つかるかも知れません。本年の活動方針として「小グループ」での話し合いの場を何回か設けることとしました。全員に発言の場ができると思います。少々「テーマ」から外れたとしても一向に構いません。気楽に話し合ってください。いつの間にか任期最終年となりました。悔いのないように活動しましょう。

一人暮らしの男性高齢者 佐藤 恵子

人とのつながりがつくりにくい社会になった背景には「つながりを持たない」「つながりを持ちたくない」「持てない」という多様な姿があります。希薄となった近所付き合いの中、一人暮らしの男性高齢者は特に孤立し深刻になる場合が多い。趣味があれば良いが何もないと話相手もなく、外出はスーパーの買い出しが主の人も多い。話さないで声が出にくくなる人もいます。地域で何かしらの役割があれば自信が付き他者との関わりがスムーズになると思います。



それで現況調査の時、元気な方に声をかけています。昨年度は一人ゲット？しました。「いきいきサロンのお手伝いをお願いできませんか？ 男手が必要なんです」「いや～話したことがない人ばかりで無理だと思うよ」「まず、お試しで来ませんか？ あなたの力が必要です」少々渋り顔でしたがお試し参加しました。回を重ねるうちに顔なじみになり今では冗談を言い合い笑っています。

これは一つの方法です。孤立しないように良い方法を探しながら見守りたいと思います。

長寿軌道 渡辺 均

97歳になる叔母が長岡で一人暮らしをしている。一人娘が早々に関東圏に嫁ぎ、叔父が定年を迎えると本拠地を十日町から移したが、高齢者になるとすぐに叔父と死別、数年後には家族同様だった愛犬も老衰で失った。その後は趣味の野菜作りと読書でつつましく暮らしてきた。



昨年暮れに、ふさがちな叔母を危惧した娘夫婦が包括支援センターに相談すると、担当者が週1回の送迎付き介護予防教室を勧めてくれた。楽しく体と頭を使い、健康寿命を延ばそうという取り組みである。小柄とはいえ日本舞踊で鍛えた叔母の足腰は人一倍強く、また長年続いた一人暮らしの緊張感から認知機能の低下なども年のわりに見受けられない。「私、もっと早く入ればよかったわ！」弾んだ口調で教室の様子を話す叔母は理想的な長寿軌道に乗ったように感じる。

夜も眠れぬ恐怖 樋口 隆

もうすぐ75歳になろうとする一人暮らしの男性が、軽度の血管性認知症となり、頻繁に自損事故を起こしており、遠方に住む弟妹3人は、怪我で入院したのを幸いにと、車のカギを隠したそうですが、知った本人は、車が無ければ生きていけないと、合鍵を作って乗り回しはじめました。

3人は、もし人身事故ともなれば、事故でなく、昨今は事件として報道されることに、夜も眠れないほどの恐怖を感じたそうです。警察に相談に行くと、現状では取締り対応は難しいとのことでしたが、主治医より認知症検査等で運転不能の判定がされて、公安に書類提出願えば、即、免許は失効しますよ、とのことでした。前回の検診で、主治医から運転はだめですねと言われていたので、その足で、主治医のところをお願いに行ったら、先生は、その書類は発行したことが無いとのこと。

それでは困ると、本人を連れて受診をお願いしたら、先生から本人にきつく諭されたのでしょうか、数日後、免許証は返納しないが、運転はしなくなったとのこと。

3人いわく、先生からの言葉が生きて行くのに一番怖かったみたいとのことでした。



県外視察研修旅行に参加して 根津 洋子

6月12日～14日は東北への視察研修旅行でした。宮城県白石市民児協との交流会は、白石市から話が余り聞けずもう少し時間が欲しかったように思います。小千谷市と同程度の規模の市の民児協との交流ですが、いつも感じることは、小千谷市民児協は一生懸命頑張っているということです。

二日目の南三陸町視察も有意義なものでした。宿泊先の秋保温泉『佐勘』と新鉛温泉『愛隣館』はどちらも素晴らしく、自分へご褒美と思い温泉と料理を堪能しました。

第一地区は恒例で夕食後に集まり再度懇親会をします。ここでも民児協の話になり意見交換し、毎月の定例会時よりも意見が多く盛り上がりました。委員同士がより良い関係になれる場で、とても良い旅でした。次年度は多くの委員に参加して欲しいと願っています。「小千谷市民児協バンザイ！」



南三陸町 震災復興祈念公園



震災遺構“防災対策庁舎”



時は巡る 阿部 正行

6年前、主任児童委員を引き受けて、早、今年改選期をむかえました。時として子供達の情報が入らないことにやっきもつきたり、学校を訪ねて先生方とあれこれと雑談の中に、教師たる悩みを聞いたりして過ごして参りました。

その中で、感ずることは「どうやったら学校経営が上手くいくか」ということです。十人十色、いろいろな子供がいて、それを束ねる難しさ、でも、子供の発想って、すごく面白いじゃないですか。その良さを大事にしながら、成長を見守る、そう、親だってわが子に手を焼くことだって多分にあります。たまには手をあげる、それだって本当に心配しているからの行動であり、叱られる子供だってわかってくれるのではないのでしょうか。愛情をもって接して行けば必ず子供達は返してくれると確信しています。

この6月長嶋茂雄氏が逝去しました。巨人大鵬卵焼きで育った世代の一人として、寂しい気持ちで一杯ですが、高度成長が終焉を迎え、これも時の流れかと納得している気持ちでいます。

あと、半年しっかり仕事して行きましょう。



あとがき 今回から 仲及び岡村 が広報担当になりました。よろしくお願いします。
寄稿いただいた皆さんにお礼申し上げます。

